



港区立高松中学校 学校だより<第3号>

令和3年6月4日 校長 鈞持 利行

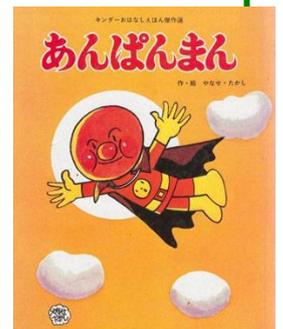
創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ>推進校 港区高輪1-16-25

みんなが生きる みんなで生きる

校長 鈞持 利行

5月29日(土)に行われた高松体育大会。今回は、緊急事態宣言中ということもあり、無観客での実施となりました。『保護者の皆様には、オンラインで視聴・応援いただきました。』当日は、天候にも恵まれ、生徒一人ひとりが、これまでの練習成果を十分に発揮してくれ、思い出深い行事となりました。

さて、日本人なら誰でも知っている「アンパンマン」。その原作者である やなせたかし さんを知っていますか。やなせさんは、漫画家として著名ですが、「手のひらを太陽に」の作詞者(作曲いずみたく)として作詞家としても知られています。「天使のパンツ」「夕やけに拍手」「勇気の歌」「さびしいカシの木」など、多くの歌で子どもたちの心を勇気づけたり、癒したり励ましたりしてきました。嬉しいとき、楽しいとき、悲しいとき、苦しいとき、彼の詩に励まされた人も多くいることでしょう。「アンパンマン」の主題歌に「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ」という歌詞がありますが、この言葉の意味はとても深いものであると思います。やなせさんの詩の素晴らしさは、メッセージの明確さと、言葉の優しさ・楽しさ・美しさだと思います。



♪そうだ うれしいんだ 生きるよろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
なんのために生まれてなにをして生きるのか
こたえられないなんて そんなのはいやだ!
今を生きることで 熱いころ燃える
だから君はいくんだほほえんで
そうだ うれしいんだ 生きるよろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
ああ アンパンマン やさしい君は
いけ! みんなの夢まもるため

彼の詩には、一人ひとりの命の輝きを大切にしたいという思いと、互いの良さを認め合い尊重し合っていて欲しいという願いを感じます。「手のひらを太陽に」の冒頭をご存知だと思いますが、「僕らはみんな生きている」から始まります。まず、個の存在を尊重し、みんなが生きるということを歌い、さらに、相互の信頼と協力で、みんなで生きるという両面の意を込められた歌のように感じます。

6月1日～6月30日の期間、「ふれあい(いじめ防止強化)月間」を実施しています。いじめは、どのような理由があっても絶対に許されないことです。全校生徒が仲良くお互いに思いやりをもって行動できるよう取組の充実を図っていきます。



高松 体 育 大 会



「高松体育大会ポスター」
最優秀賞 優秀賞



3年2組 ○○ ○○ 2年3組 ○○ ○○ (敬称略)

実行委員としての活躍、色別に縦割りの学年となった応援団としての活躍、競技する生徒としての活躍、係として支えた生徒としての活躍など、一人ひとりが全力で取り組みました。また、競技している生徒に向けての声援もグラウンドに響いていました。高松体育大会が実施できたことは、皆さんにとっても有意義な時間を過ごすことができたと思います。今後の糧としてください。

< 表 彰 一 覧 >

- ◆ 競技の部 (色 別)
優 勝 赤組 (1年1組・2年1組・3年1組)
- ◆ 競技の部 (学年別)
優 勝 1年1組、2年3組、3年2組
- ◆ 応援の部
優 勝 赤組 (1年1組・2年1組・3年1組)



< 高松体育大会ハイライトシーン >



生 徒 総 会



5月7日(金)生徒総会を行いました。今年は緊急事態宣言実施のため、体育館に集まっの総会ではなく、視聴覚室から各教室へオンライン配信として実施しました。このような実施形態ではありましたが、高松中学校をより良くするために、生徒はそれぞれの場所から真剣に参加していました。

高松交流ガーデン



5月20日(木)緊急事態宣言中ではありましたが、20名以上の保護者 OB・保護者の方にお集まりいただき、『高松交流ガーデン』の花の苗植えと花壇の整備等を実施していただきました。何とか雨も降る前に、作業が終わって本当によかったです。ありがとうございました。